

事業所職員向け

放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7			ワンフロアを有意義に使えている 広さがあるので様々な用途で適切
	2	職員の配置数は適切であるか	7			基準、加配職員の他に職員を配置している
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	5	2		施設が建物2階のため階段がある 手すりを設置するなど対策をしている
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	6	1		非常勤職員も含めて参画していきたい
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7			評価を参考に見直しを行っている
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7			ホームページで公開している
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3	4		積極的に検討したい
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6	1		非常勤職員の参加も増やしていきたい
適切 な 支	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	7			半年に1回以上の見直しを行っている
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	7			個別支援計画書や経過記録、アセスメントなどのカルテを用いている
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	7			児童生徒それぞれの活動プログラムを全員で会議をして決めている
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7			工夫している。 今後は5領域を含めて変化を持たせたい。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	7			保護者様のご意見も参考にして設定している。

援 の 提 供	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、放課後等デイサービス計画を作成しているか	7			特性や状態に応じて計画を作成している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7			朝礼、昼礼にて支援会議を行っている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	7			終礼にて全体の報告、振り返りを行っている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7			経過記録をつけ、モニタリング会議などで検証、改善につなげている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	7			相談支援員、保護者を含め行っている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	7			様々な活動を組み合わせている。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7			児発管が取りまとめて会議に参加している。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	7			常に連携して調整を行っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	/	/	/	該当なし
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		7		今後、取り入れていきたい。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	7			担当者会議などを開催して情報共有を行っている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6	1		定期的な研修に参加している。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	7			不定期に公園や屋外にて行っている。
	27	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか	2	5		こどもふくし協議会を通して、様々な情報を得ている。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7			必要に応じて話し合いを行い、状況や課題について共通理解をしている。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	5	2		必要に応じてペアトレ、助言を行っている。	

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7			契約時、または必要に応じて説明している。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7			必要に応じて行っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		5	2	検討しているが実現していない。 個人情報等の問題もあり課題がある。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7			苦情受付に関するマニュアルを作成し、敏速に対応できるようにしている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7			ホームページやLINEを用いて行っている。
	35	個人情報に十分注意しているか	7			十分注意している。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7			様々な方法を用いて行っている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			7	個人情報等の問題もあり実現していない。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	7			行っている。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7			定めた期間、回数の訓練を行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7			毎月の研修、外部研修にも参加している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	7			いかなる場合であっても身体拘束は行っていない。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	7			アセスメントやカルテに記載し、慎重に対応している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7			作成し、共有している。